

財務の概要

■事業活動収支計算書の概要

2022(令和4)年度の法人全体の事業活動収入合計額は、1753.2百万円となりました。これは、前年実績と比較すると52.3百万円減少しています。

学生生徒納付金は103.5百万円減少しました。これは、大学が7年ぶりに定員割れとなり、学生数大幅減(100名)による収入減が要因です。

寄付金は0.9百万円減少しました。

補助金は54.8百万円増加しました。これは、国庫補助金15.8百万円増加、幼稚園の施設型給付費49.2百万円増加が主な要因です。

付随事業収入は0.9百万円減少しました。

雑収入は43.3百万円増加しました。これは、私立大学退職金財団からの交付金17.4百万円、増加、その他の雑収入24.3百万円(内落雷被害による損害保険料22.2百万円)が増加したことが主な要因です。

一方、法人全体の事業活動支出合計額は3104.4百万円となりました。これは、前年と比較すると1397.6百万円増加しています。

人件費は22.0百万円減少しました。これは、教職員数の減少が主な要因です。

教育研究経費が65.8百万円増加しました。前年の一部再開していた新型コロナウイルスによる各種教育プログラムや学外活動を全面再開したことによる奨学費15.5百万円増加、光熱水費11.0百万円増加(5割増)、落雷被害の復旧工事14.7百万円を含めた修繕費17.7百万円増加、減価償却額19.3百万円増加が主な要因です。

管理経費が1.9百万円減少しました。

永年課題であった第2グラウンドの処分を行い、土地処分差額1358.8百万円を計上しました。

経営状態の指標となる、経常収支差額は14.6百万円の黒字となっています。

■資金収支計算書の概要

2022(令和4)年度の法人全体の収入の部合計額は、3721.8百万円となりました。これは、予算と比較すると97.8百万円増加しています。主な要因は、自己都合退職者の増加による私立大学退職金財団交付金収入増31.9百万円、落雷被害の損害保険料収入増22.2百万円、特定資産間の振替24.2百万円等によるものです。

法人全体の翌年度繰越支払資金は1860.3百万円と、前年度繰越支払資金1471.1百万円と比較すると、389.2百万円増加しています。土地売却収入350百万円があったためです。

以上